

山田光春 議員

原水（井戸水） 水質結果の公表について

問 町長は議員懇談会で「原水、井戸水の水質を公表したのは初めてで、実のところブレンドして水質基準に合っているのは最低限と説明した。状況を見ると極めて深刻で、水道の水は飲めないということが流布されている。これだけ安心感を与えない水道というのは深刻です。井戸水の原水が非常に悪いという印象を持っておられる。良い水が井戸水にあるならいいが、良い水とは決して言えない。我々は公表できない水質基準ですのでブレンドしたらいいいという言い訳を住民は理解してくれません。良い水を混ぜ合わせるというならわかっていただけますが、水質基準表をしっかりと見ればおわかりいただけますが、我々の体内でいつも飲んでいるとどんなことが身体で起こるか、医学的に証明されていませんが、そういう危険な要素のある水を送り続ける井戸水はすべてだめだと思えます」町長はこんな重大な発言をされた。施政方針でおいしい安全な水ですよと言いながら一方で水道水はすべてだめだと断言

する。そんな水を提供している。これなんかまさに町民に対する「背信行為」ではないのか。説明を求める。 **平岡町長** 原水が基準値を超えていても、町民に供給している水は適正な処理をして、県水とブレンドして飲料水としての基準値はすべてクリアしている。なんら問題のない安全な水です。「背信行為」については誠に残念な言葉と受け止めています。

入札制度について

問 (イ)指名競争入札と随意契約の件数。(ロ)なぜ最低制限価格の入札が多いのか。(ハ)「くじによる落札」はなぜ業者に引かさず職員の手で引くのか。(ニ)土木関係は10万円以下が随意契約であるようだが、他の入札は制限があるのか。

理事者 (イ)143件と80件(実例、はしお元気村の風呂の改修、439万9,500円でKポイラー工業(有)と随意契約)(ロ)安価で契約できるものとして望ましいことであっても、正当な競争になっているかどうか、不安である。(ハ)くじの引き方については指名業者に周知と定着ができており、業者から疑義を聞いていない。(ニ)地方自治法施行令に基づき実施している。

乾 浩之 議員

馬見丘陵公園の整備促進について

問 大和平野のほぼ中央にある馬見丘陵はわが国でも有数の古墳が集中している地域です。これらの古代の遺跡をつつみ込むように豊かな自然が広がる場所は他にはあまり例がございません。そこで、奈良公園に次ぐ広域公園として県も整備に力を入れていく馬見丘陵公園の今後の整備と有効活用などについて、町の見解を伺いたい。

平岡町長 馬見丘陵公園は、馬見古墳群の保全と周辺の自然環境の活用を基本方針に、昭和59年度に広陵・河合両町にまたがる約61・3haの県立広域公園として都市計画決定されました。現在まで84%の整備がなされており、残された区域も平成24年度までに整備される予定です。町としては、今後「花なら広場」「ダリアのテーマ館」などについての有効活用、子どもマラソン大会などの充実、周辺の花壇の活用など県と協議しながら、また、竹取公園との相乗効果も期待できる整備促進を要望してまいります。

中学校の給食化について

問 中学校の給食化については、9月議会でも質問しましたが、親と子のコミュニケーションが薄くなる懸念されました。近年、夫婦共働き世帯が、専業主婦世帯を上回るようになっていきます。これからも夫婦共働きが増えると予想されます。家庭を取り巻く環境が変わる中で学校などの公共施設でもそれに配慮した環境を整えていくのが大事なのではないですか。また、アンケート調査をされてはどうですか。

平岡町長 教育委員会や学校関係者との話し合い、意見を聴いていますが、社会の現状、児童・生徒の実態から現行の家庭からの弁当を基本としてスクールランチで補うのが好ましいとの意見が多いのが現状ですが、義務教育修了前のすべての子どもを対象に、町全体として給食のあり方を抜本的・総合的に考えなければならぬと思っています。町特色を活かした給食のあり方など、関係者の意見を聴く場を設けるべき時期にきていると考えます。

